



高齢パワー活用の会第5回記念講演・討論会
神奈川新聞社 後援

あなたが主役です！
顔が見える街づくりに参加
しませんか！

第1部 基調講演 横浜市会議員 山崎 誠

2007年11月17日

お話のテーマ



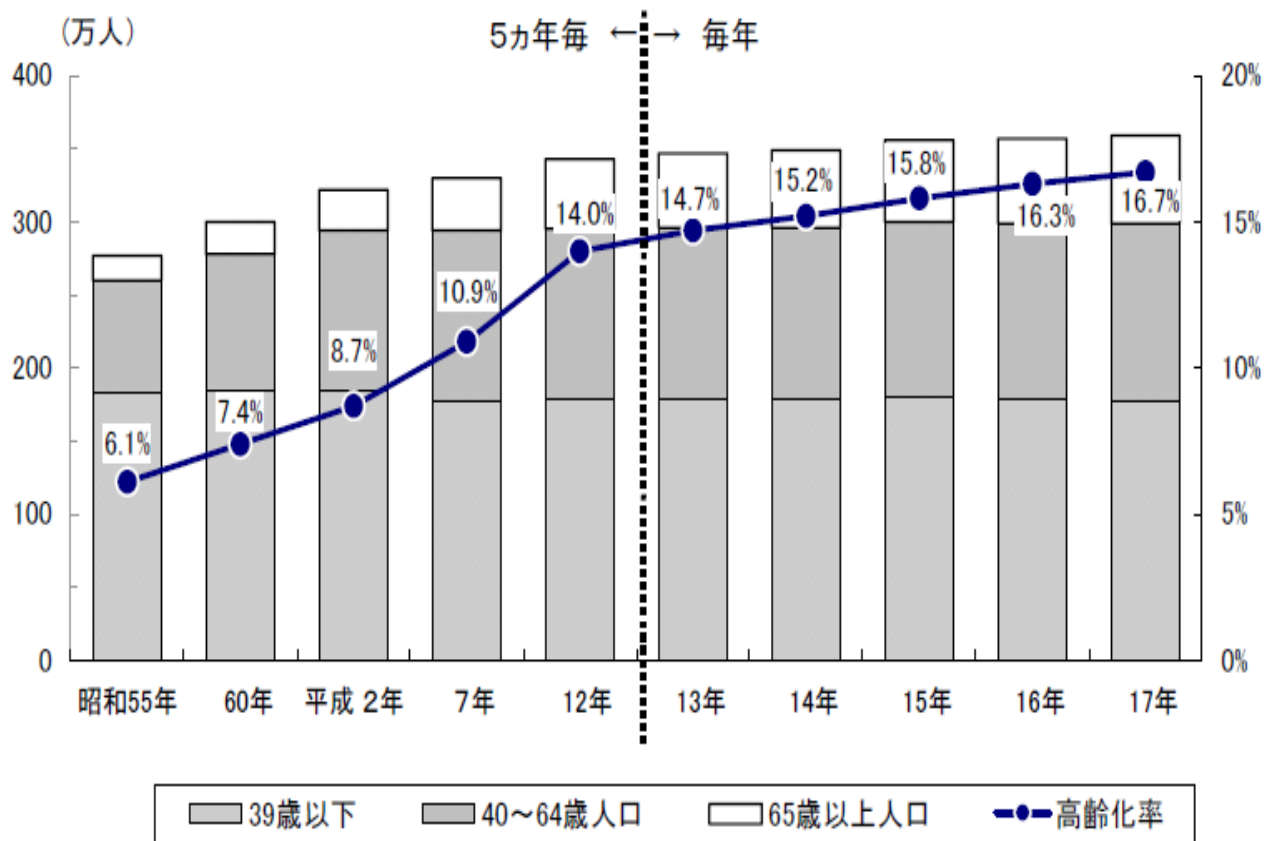
- 横浜市、青葉区のいま。
街の課題はどこにあるか？
- 「ふるさと安心ネットワーク」から
「地域防災システム」まで
- 街づくりは顔の見える心の通う人間関係から



街づくりを考える

背景

高齢化の進展(横浜市)



高齢化の進展(横浜市)



	12年	第3期計画期間				26年
		17年	18年	19年	20年	
総人口	343万人	359万人	361万人	364万人	367万人	376万人
高齢者人口 (65歳以上)	48万人	60万人	63万人	66万人	69万人	85万人
<指数>	<100>	<125.0>	<131.7>	<137.5>	<143.8>	<177.1>
高齢化率	14.0%	16.7%	17.5%	18.1%	18.8%	22.6%

注2:各年10月1日現在 横浜市の将来人口推計に基づく

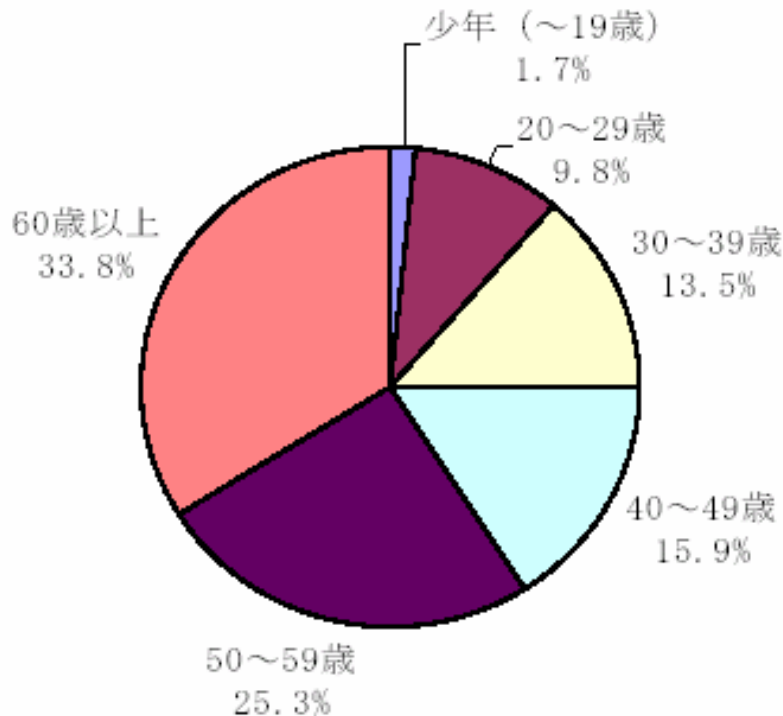
超高齢社会の到来

高齢者の自殺の実態

深刻な事態：増加する高齢者の自殺



2003年に自殺した者の年齢構成(警視庁の報告書より)



原因：うつ病

うつ病の予防：

- 高齢者の引きこもり防止
- 生きがいの創造
- 地域的な取組み

横浜市の現状



まだまだたくさんある借金
複雑化、多様化する行政課題

横浜市全体の借入金の残高と市税等で返済する額

また、外債団債を含めると横浜市全体の借入金の残高は5兆7,502億円あり、そのうち3兆239億円を市税などで返さなければなりません。

市全体の借入金のうち、市税等で返さなければいけない分がいくらあるのか、明らかにして公表しているのは横浜市独自の取組なんだよ！



市民との協働、市民力によるまちづくり
では市民とは誰のこと？



**顔が見える街づくり、
社会の課題はここにあります！
提案します！**



具体例1 高齢者介護の問題

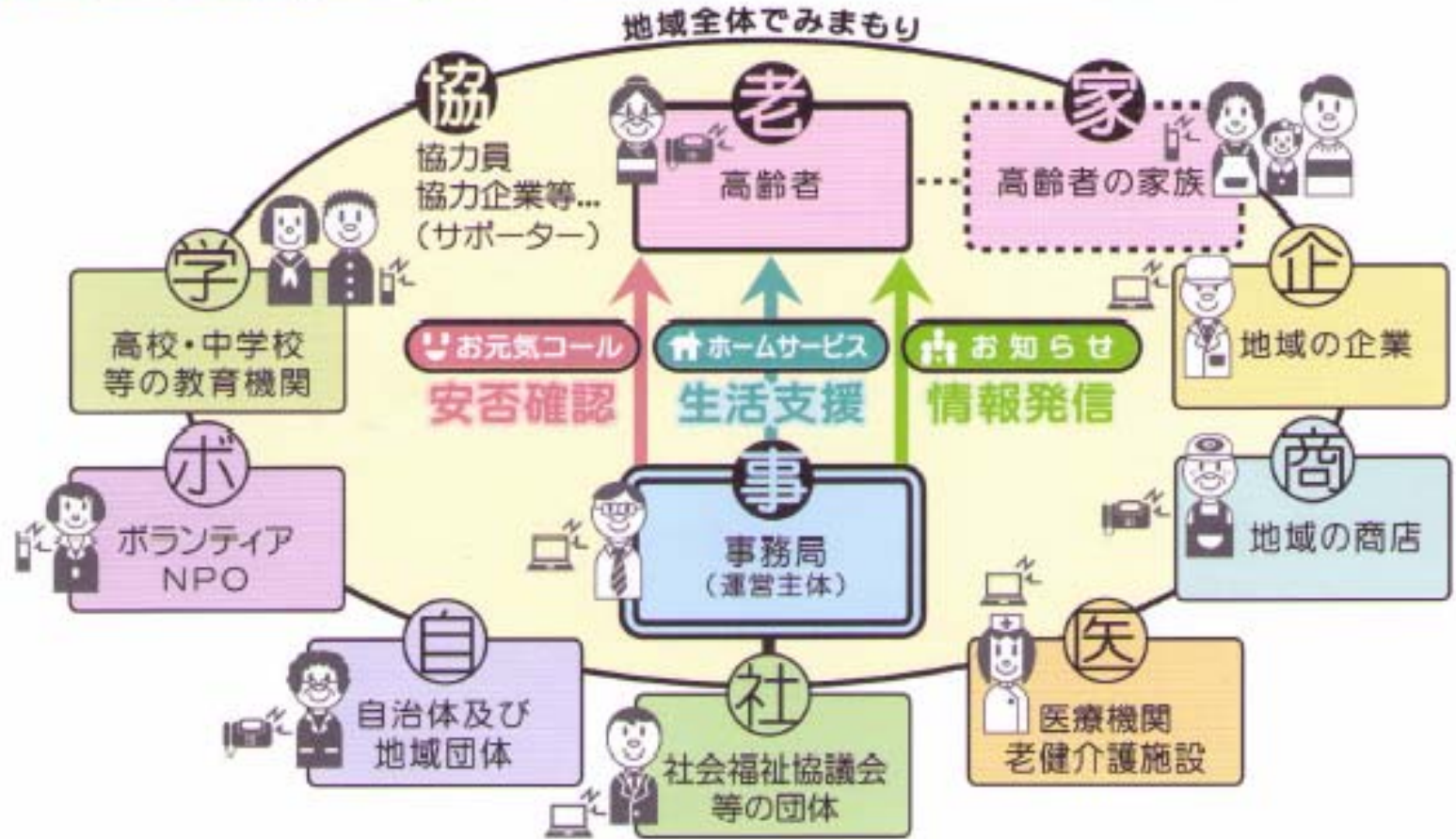
お年寄りをどう支えるか
孤独のお年寄り、介護に疲れた家族を地域で救う

ふるさと安心ネットワーク

お元気モードの機能説明



サービスイメージ service image





具体例2 地域防災

大地震発生、その時、誰が命を救うのか？
地域共助を支える仕組みづくり

安否確認・被災情報収集システム



現実の理解を！

青葉区内の消防車の数は？（消防団はのぞく）

10台

青葉区内の救急車の数は？

3台



現実の理解を！



**大震災のとき、消防はあてに
できない！**



**地域の助け合い命を救う
「自助」「共助」が基本**

共助を支える仕組みづくり

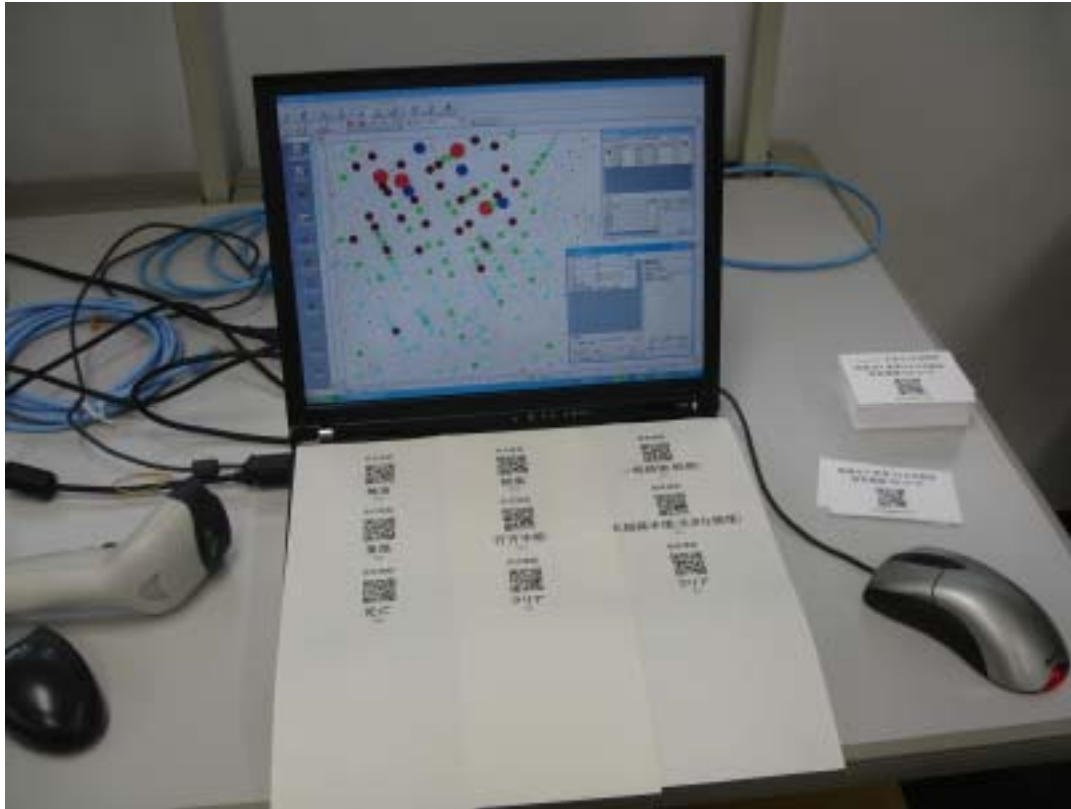


ふるさと安心ネットワークの発展

防災情報システム

「安否情報・被災情報収集システム」

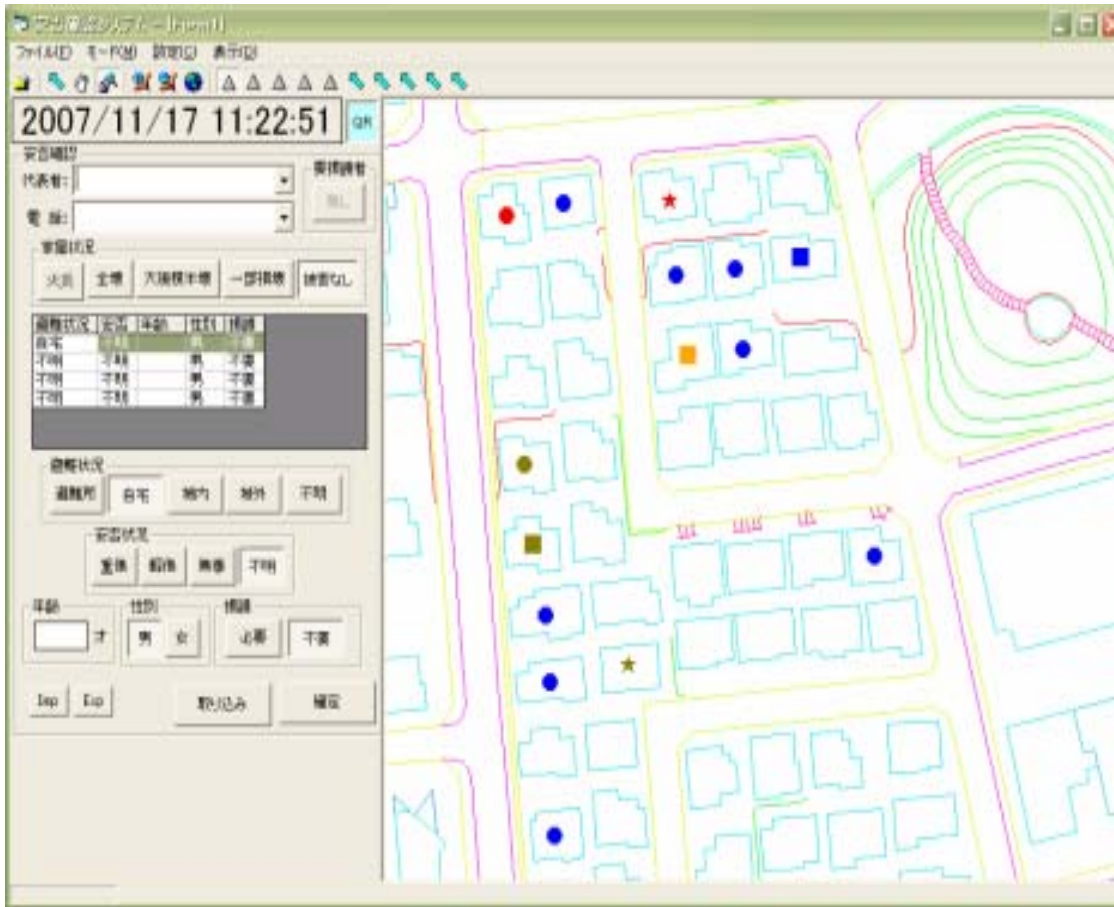
「安否情報・被災情報収集システム」



バーコードを
使って避難者
の情報を登録

町の地図上に
被災情報を表
示、誰が逃げ
遅れているか
が分かる

「安否情報・被災情報収集システム」



どこの被害が大き
いかが分かる
(色・)

要援護者がどこに
いて、避難してい
るかが分かる
()

どこに助けに行く
べきかが分かる仕
組み

今日の本当のテーマ



社会がシニア世代に期待している、
今こそ活躍のチャンス

**顔の見える街づくりの主役は
あなた！**



具体例3 子どものいじめ問題

いじめの急増

認知件数2.7倍(小学校627件、2006年横浜市)

苦しんでいる子どもを救えるのは第三の大人

チャイルドライン(電話相談)

プレイパーク

ボランティアが支える子ども電話相談 チャイルドライン



ボランティアが支える子ども電話相談 チャイルドライン



チャイルドラインの切り口



- ・子どもに寄り添うということ
- ・謙虚さ
- ・行政にできないこと

子どもの居場所、冒険遊び場 プレーパーク



有馬ふるさと公園

子どもの居場所、冒険遊び場 プレーパーク



片倉うさぎ山



プレイパークの切り口

- ・市民参加による公園づくり
- ・ハードでなくソフトウェア
- ・いじめ対策にも
- ・大人の居場所にも



具体例4 夢の実現

都会の子どもの本格的な自然体験を！

阿寒自然学校構想

阿寒自然学校構想



来春、廃校となる布伏内小学校の跡地利用を提案。

市民による本格的な自然学校を開設したい！

子どものための自然学校

シニア世代のための田舎暮らし体験

など

阿寒自然学校構想



阿寒自然学校构想



阿寒自然学校构想





街づくりを考える

まとめ

まとめ



これからの街づくりの主役はあなた！

活躍の場はたくさんあります！

地域で活躍、元気に暮らす！

元気で長生き！

最後に



横浜市長の施政方針(H19.2.8)から

「市民力」の発揮で、地域をつくる・横浜を築く

かねてより言われてきた「2007年問題」、団塊の世代の大量退職期によいよ突入します。人生80年と言われて久しい今日、社会を率いてきた能力・実力、そして溢れる元気を持つこの世代の方々に、「創造的改革」に欠かせない「市民力」のさらなる発揮に加勢していただきたいと考えています。

すでに、団塊の世代の地域回帰支援については、多くの区で創意工夫を進めてきましたが、これをより大きな動きとするため、市民活動や地域活動への入門・体験機会の拡充や相談窓口の設置、参加のきっかけとなるイベント・PRなどを全市展開します。